

年組番名前

☆季節に関する写真のある記事を探してはりつけ、写真に題を付けよう。

☆自分が発見した季節のことがらについて発表し、友だちと意見を交換しよう。

コピーを児童に渡す際、下記の指導アドバイスの部分は消してからコピーしてください。

※指導する先生や保護者の皆様へ
自分が感じる季節の事柄と新聞記事の季節感、友人の季節感を比較することで、多角的な視点からの観察力をつけさせます。また、地元の季節と全国各地のそれとのズレを感じさせても子供たちの視野が広がるでしょう。



ヒマワリ 黄色く波打つ

静岡市葵区桂山の休耕田を埋め尽くすヒマワリが満開となっている。晴天に恵まれた9日は多くの人が訪れ、夏空に向かって咲き誇る黄色の大輪を楽しんだ。見頃は8月下旬までという。

休耕田を有効に利用しようと地元の主婦ら10人がヒマワリの植栽を始めて3年目。6月上旬、約3千平方メートルの土地に種をまき、育ててきた。約2万本のヒマワリで染まった一面の黄色が、背後の夏山とのコントラストで一層映えている。

娘の向日葵（ひまわりちゃん）とともに訪れた地元の看護師・小林美春さん（34）は「娘と一緒に満開になるのを楽しみにしていた。黄色が輝いていてこの土地が元気になった気がする」と笑顔を見せた。

葵区・桂山下旬まで見頃



ススキ大群落 出現

富士山背に黄金色の穂揺れ

富士宮市の朝霧高原でススキの大群落が発見し、晴れた日には富士山を背景に黄金色の穂が風に揺れている。標高700～1000メートルの富士山西麓に位置する朝霧高原は市街地より早く秋の気配が漂う。ススキは11月ごろまで楽しめるが、初秋のこの時期は黄金色の穂と、緑色の茎葉のコントラストが映える。抜けるような青

空が広がった8日、山梨県に通じる国道139号沿いでは眼前に富士山が全身を現し、自動車を止めて写真を撮影する人の姿が目立った。

朝霧高原のススキ群落は秋の富士宮市を代表する観光スポットとして知られ、市観光協会も誘客イベントで来場者にススキを贈るなどしてPRしている。

富士宮朝霧高原